

# (公財)福岡アジア都市研究所 都市政策資料室

\*\*\* URC資料室だより NO.55 平成24年10月号 \*\*\*

## URCニュース

### 「日韓海峽圏研究機関協議会」の定期総会、研究報告会参加報告

(公財)福岡アジア都市研究所 研究主査 益田 千佳

日韓海峽圏研究機関協議会は国際化時代における東アジアの新たな成長圏の定着を目指し、日韓の地域研究機関としての立場から様々な分野の課題について共同研究や情報交流などの事業を行い、相互理解と友好交流の促進を図るとともに地域活性化と共同繁栄に寄与することを目的に活動している。

第19回目となる今回の定期総会は、韓国釜山(海雲台)にて平成24年9月19日水曜日～20日木曜日の日程で開催された。

初日の19日、現会長である(公財)福岡アジア都市研究所(URC)の安浦寛人理事長は開会の挨拶で、今回の主管である釜山発展研究院への謝意と麗水国際博覧会開催への祝辞を述べ、関係者の冷静な対応と努力により、総会がこの時期に開催されたことは日韓の研究交流による地域間の発展と相互理解に意義深いことであると述べた。

安浦会長の議事運営の下、2011年度事業実績報告がURCの梶原常務理事から行われた。

その後の役員改選で釜山発展研究院院長が会長に、国際東アジア研究センター(ICSEAD)所長が副会長にそれぞれ承認され、次期総会はICSEADが担当、開催地は北九州市と決定した。

これに先立ち、実務者会議では、2012年度共同研究の大テーマを「持続可能な環境都市」とすることなどが話し合われた。

翌20日、釜山映像委員会運営委員長による招聘講演にて釜山の映画産業発展への取組みが紹介され、続く研究報告会では大テーマ「観光活性化」に沿って日韓の研究機関が各地で取り組んでいる観光活性化策や外国人客の動向分析などを報告、振興策等を話し合った。

URCの新井直樹研究主査は、韓国側の大手企業が立地する蔚山での産業観光研究発表について討論し、北部九州の動向を交えて語った。

その後、一行は市内にある映画・映像関連施設を視察。バーチャル映像製作設備、映画の殿堂などを巡った。

国家間のみの枠組みにとらわれることなく日韓海峽圏の経済発展と相互理解をはかるという協議会の基本理念に沿い、お互いに地域連携の重要性を実感し一層の親交を深めることができた。

今回は北九州市で「持続可能な環境都市」のテーマで開催される。



URCによる事業  
実績報告



総会参加者の集合写真



討論に参加する新井研究主査



映像関連施設

## 今月のおすすめ

### 海峽圏研究 第12号 韓日海峽圏研究機関協議会(釜山発展研究院)2012.9発行

上記総会で配られた機関誌です。韓国の研究機関からは韓国語で、日本の研究機関は日本語で書かれています。英語のサマリーもありますので、是非ご覧ください。釜山の発行なので、発行者名が「韓日海峽圏研究機関協議会」となっているものおもしろいです。

\* ご希望の資料がございましたらご連絡下さい。TEL:092-733-5707 FAX:092-733-5680 E-mail:library@urc.or.jp  
その他の資料につきましては当研究所ホームページ内(<http://www.urc.or.jp/>)の蔵書検索をご利用下さい。

\* 利用案内/場所:福岡市役所北別館6F 開室:月曜日～金曜日 10:00～17:00

貸出:1人5冊まで 2週間以内(貸出には身分証明書が必要です。)毎月末業務日(今回は10月31日水曜日)は休室です。

\* 福岡市役所1階の情報プラザで本が返せます。カウンター横にある専用の返却口に入れてください。平日はもちろん、土・日・祝日も市役所の開いている時間ならいつでもOK! \*ごく稀に消毒等、臨時休館がありますので、お出かけの際はご確認ください。